

授業コード： ns252039

授業科目名： 看護技術論ⅠⅤ

履修者数： 56 名

担当教員名： 庄子 幸恵

回答者数： 46 名

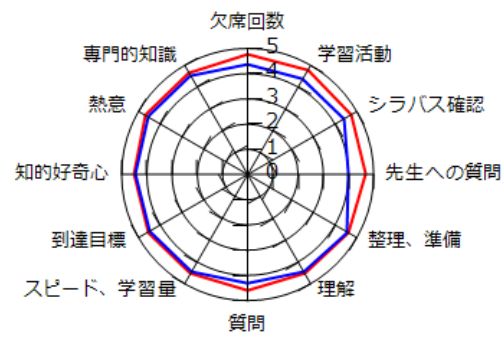
学部：	医療福祉	46	現代社会	0	経営法／総合政策	0	工／科学技術	0
	無回答	10						
学科専攻：	理学療法	0	作業療法	0	言語聴覚	0	視覚機能	0
	看護	46	保健福祉	0	現代社会	0	経営法／総合政策	0
	知能情報	0	建築環境	0	臨床工学	0	無回答	10
学年：	1年	0	2年	46	3年	0	4年	0
							無回答	10

設問文 5.そうである 4.まあそうである 3.どちらともいえない 2.あまりそうとはいえない 1.そうとはいえない	5	4	3	2	1	科目 平均	大学 平均
A：授業への取り組みについて							
問1. 授業の欠席回数は何回でしたか 5. 欠席なし 4. 全体の1～15% 3. 全体の16～30% 2. 全体の31～49% 1. 全体の50%以上	36	9	1	0	0	4.76	4.35
問2. 授業の他に学習活動（予習・復習・課題・レポートなど）をしましたか	36	10	0	0	0	4.78	4.36
問3. 授業を受講する前にシラバスを確認しましたか	36	8	1	1	0	4.72	4.40
問4. 授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	35	7	4	0	0	4.67	4.02
B：授業内容・方法・成果について							
問5. 授業方法について、使われた方法すべてにマークしてください（複数選択可）							
対面	46	遠隔(meet)	0	遠隔(音声ファイル)	0	遠隔(動画ファイル)	1
遠隔(チャット)	0	遠隔(課題)	4	遠隔(テスト)	1	無回答	0
問6. 授業は系統的に整理、準備されていますか	29	15	2	0	0	4.59	4.57
問7. 授業内容は理解しやすかったですか	30	11	5	0	0	4.54	4.44
問8. 授業は質問しやすい環境でしたか	30	13	3	0	0	4.59	4.31
問9. 授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	29	13	3	1	0	4.52	4.46
問10. シラバスまたは授業初めに掲示された到達目標は達成されましたか	28	16	2	0	0	4.57	4.46
問11. 授業内容は興味深く、知的好奇心を触発されましたか	28	14	4	0	0	4.52	4.47
C：授業の全般的印象							
問12. 教員の熱意を感じましたか	33	12	1	0	0	4.70	4.57
問13. この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	31	14	1	0	0	4.65	4.51
問14. 総合的に判断すると満足できる授業でしたか	33	10	2	1	0	4.63	4.51

学生へのメッセージ

2年生の皆さん、看護過程の授業お疲れ様でした。
基礎看護学実習Ⅱを終了した今、もっとこの授業の重要性が理解できてきたのではないかと思います。患者の情報収集→アセスメント→看護診断→看護計画→実施→評価を行い、
また情報収集に戻って、再アセスメントするという看護過程は、患者の看護問題について、理論的、客観的に考え、よりよい看護計画につなげていくためにとても大切なプロセスとなってきます。臨地実習から戻り、実習レポートで自分の看護を振り返る過程もとても大事になってきます。3年生になると授業も各領域で看護過程の展開が始まりますので、
今年学んだ内容をもう1度振り返り、次年度の臨地実習につなげていって下さい。

レーダーチャート



総合評価

